

Be Happy! その 64

南楠祭 その 3 閉会式のあいさつ

6月16日(金)、南楠祭テーマ～お帰り青春、さよならコロナ～が開催されました。本当に楽しい1日の閉会式の挨拶で、なんと大きなすべり(ミス)をしてしまいました。挨拶の冒頭。「お帰りコロナ」と言ってしまいました。自分で「違う。違う。」と訂正しましたが、会場の皆さんが一齐に笑ってくれました。勿論、皆さんの笑いをとるために高等なジョークを言ったのでは無く、単純に間違っただけで、こんなミスは過去8年間の校長の挨拶で初めてです。この南楠祭は、初めて尽くしが多くありました。しかし、皆さんはジョークで受け止めてくれ、大きな拍手や歓声があがりました。自分自身に「あの一心を整理します。」と言い、「講評と言うより、おこがましいので、感想で素直な気持ちを話します。」と言葉を繋げますと、会場はその瞬間から静かに聞き入ってくれました。

「青春って、やっぱり笑顔が似合う。皆さんが楽しんでいる姿、それを支えてくださる先生方の一生懸命さや多くのスタッフや皆さんで南楠祭を支えています。青春って、やっぱり熱くて情熱があって、しかし、1位2位と序列を付けるなら、悔しさもあるし、砂をかむような思いもある。それがすべて青春で、すべてがかけがえの無い世界でたった一つだけの本年度の南楠祭でした。3年次のクラス発表は、クオリティの高さや工夫で昨年度のプレッシャーもあったことでしょうか、ものの見事に凌駕、乗り越えて最高のそれぞれのクラスの発表でした。凄いと思いました。それを見ている下級生は、来年は皆さんが中心となって南楠祭にしてください。一番は多くあるのですが、嬉しかったのは、「校長先生も楽しんでください」という言葉でした。多くの方の支えで、特に保護者の皆さんは、276名、241の家族がお越しいただきました。皆さんを陰日向支えてくれているご家族の皆さんのお陰です。加古南の校長として本当に幸せな1日でした。南楠祭を盛り上げてくれた情熱やパワーは、どこに向いていくのかと言うと、なんと言ってもそれは3年次の進路実現です。これをワンチームとして、モードやスイッチを切り替え、これからの学校生活の方が、むしろ悔しさや苦しさ、思い悩んだり、砂をかむような思いは多いでしょう。しかし、きっと21期生は、みんな、クラス、また年次で、先生方と一緒に、そして親御さんと共に、ワンチームとして、この空気を作ってくれた21期生の皆さんなら、心を整理して次のステップを踏んでください。しっかりと進路実現を果たしてください。期待しています。もう一度最後に言わせてください。私は校長としてBe Happyな1日でした。ありがとうございました。(6分20秒のあいさつの要約より)私は、この南楠祭の多くの思い出は、生涯忘れることのない宝物になりました。 **Be Happy!**

